



# ふれあい祭り2024を 開催しました

ふれあい祭  
2024



厳しかった残暑がおさまりやっと秋めいてきた10月9日(水)、入院患者さんを対象とした三重病院恒例の「ふれあい祭り2024」を行いました。今年も大会議室をメイン会場に設定し、院内の多職種からなる実行委員が中心になって、千本引き、ヨーヨー釣り、缶バッジづくり、みえツウちゃんぬりえ展などのコーナーを企画・運営し、子どもからお年寄りまで多くの患者さんと職員が交流を楽しみました。「これ、作ったよ」と自慢げに缶バッジを見せている車いすの子どもさん、「ヨーヨー釣り初めてやったわ」「子どもがするものやと思ってたけど、楽しかったわ」と笑顔で声をかけてくださったご年配の方、自分のぬりえ作品の前で記念写真を撮る女の子、千本引きコーナーで「もらうなら、やっぱサララップでしょ」「お母さん喜ぶね」などなど、あちこちで楽しそうな表情や会話が見え聞こえてきました。

また、開会式とコーナー巡りの途中には、鈴鹿市で活動されている「寺家(じけ)獅子保存会」の皆様により「獅子舞」の披露と、客席を回って「頭噛み」をして

いただきました。獅子の頭噛みは、霊獣の力により「魔(病気)を払う」「神がつく(噛みつく)」ということで、とても縁起が良いそうですよ。寺家獅子保存会の皆様には、メイン会場に来られなかった入院患者さんの病棟・ベッドサイド訪問にもご参加いただき、病院中に福を届けていただきました。

実行委員以外にもたくさんの職員の方々にご協力いただき、無事閉会することができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(療育指導室長 村松 順子)



## 2病棟の子どもたちの生活のひとコマ

### ふれあい祭り

病院行事のふれあい祭りに2病棟の患者さんも参加しました。前日までは「どんなのかな?」「楽しみー」等の声が聞かれ、それぞれ興味津々の様子でした。

そして当日! ふだんは目の前で見ることの少ない獅子舞をすぐ近くで体験して、その迫力にびっくりしたり、「獅子舞見た?」「大きな口空いてたで」などと興奮気味に話

したり、ヨーヨー釣りに夢中になったり、千本引きの紐を慎重に引っ張ったりと、お祭りのわくわく感を味わっている姿がたくさんみられました。また入院生活では飲むことができないペットボトルの飲み物がこの日は特別に出るため、楽しみにしている子どももたくさんいました。

お祭りに参加する時間はわずかではありましたが、いつもとは違った雰囲気の中で、子どもたちもしっかり気分転換できたかなと思います。

(児童指導員 平田 真理子)